E763Z260H52

MITSUBISHI 三菱HID安定器取扱説明書

保存用

このたびは、三菱HID安定器をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に必ず本説明書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後、大切に保存し、必要な時にお役立てください。裏面も必ずお読みください。

施工者様へのお願い

安定器の取付け、電気工事は電気設備技術基準に従って、有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
工事後、この説明書は必ずご使用者様にお渡しください。

施工者様及び使用者様への安全上のご注意

⚠警告 誤った取扱をしたときに、重傷などに結びつく可能性のあるもの。

- （禁止）安定器は下記の使用環境、条件では使用しないでください。感電、火災の原因となります。
  - ・周囲温度が常時40℃以上の所
  - ・湿度が85%以上及び水気のはね返る所
  - ・腐食性ガス、可燃性ガス、塩害の生じる所
  - ・振動、衝撃の激しい所
  - ・粉塵の多い所
- （分解禁止）安定器の構造を変えたり、ケースを開けたりしないでください。感電、火災、落下の原因となります。
- （電源遮断）"高圧危険"ランプ始動のため、2～5KVの高電圧のパルスが安定器のランプ側に発生しますので、活線作業をしないでください。電撃による感電、墜落等の原因となります。(水銀ランプ使用時を除く)
- （電源遮断）ランプ交換や保守点検の際は、必ず電源を切って行ってください。感電の原因となります。
- （電源遮断）万一、煙、異臭など異常を感じたら、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。異常状態のままで使用すると感電、火災の原因となります。

⚠注意 誤って取扱をしたときに、傷害又は物的損害に結びつくもの。

- ● 安定器は、必ず適合するランプ(安定器の銘板に表示)と組合せてご使用ください。ランプの破損、短寿命、安定器の短寿命の原因となります。
- ● 布や紙、断熱材を安定器の上に置いたり、かぶせたりしないでください。温度が高くなり、保護機能が動作したり、火災の原因となります。
- ● 冬期など、長時間使用しない施設では、周辺の湿気により絶縁が低下し、漏電、感電の原因となります。湿気対策として定期的に通電してください。
- ● 安全に使用するために、3～5年に一回は工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら、交換してください。
寿命末期(一般に寿命の目安は約10年)には異常発熱、発煙、発火の原因となります。

施工者様への安全上のご注意

⚠警告 誤った取扱をしたときに、重傷などに結びつく可能性のあるもの。

- （厳守）屋外又は雨水のかかる恐れのある所では、安定器の口出線を下向きに取付けてください。又、積雪や雨水の跳ね返り等で、口出線部より、水気が侵入しないよう、取付高さ等に十分気をつけてください。雨水等が浸入すると絶縁が低下し、漏電、感電の原因となります
- （厳守）電線の絶縁体に刃物等による傷を付けないようにしてください。絶縁破壊により漏電、感電、火災の原因となります。
- （禁止）安定器のランプ側を器具に接続しないままで放置しないでください。確実な絶縁処理をせず未配線のままで電源を入れますと、電線が焼損し火災の原因となります。
- （禁止）管灯回路内に中間ジョイントとして、コンセント等の接続器を使用しないでください。絶縁破壊により火災の原因となります。

⚠注意 誤って取扱をしたときに、傷害又は物的損害に結びつくもの。

- ● 安定器の取付、配線は施工説明書に従い、結線は安定器の銘板に表示してある接続図通りに確実に行なってください。間違って取付、配線をしますと、安定器の落下、焼損又はランプの不点灯、破損等の原因となります。
- （アース線接続）安定器は接地工事が必要です。入力又は出力電圧が300V以下のものは、第三種接地工事を、300Vを超え600V以下のものには特別第三種接地工事を「電気設備技術基準」に準じて施工してください。接地工事をしないと感電の原因となります。

図記号の意味は次のとおりです。

禁止	分解禁止	電源遮断	厳守	アース線接続

商品についてのお問い合わせ

お問い合わせは安定器の銘板に表示してある安定器の形式をご確認の上施工者、または最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

三菱電機株式会社
連絡先 三菱電機照明株式会社
〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2729 (営業本部)
☎(0467)41-2773 (品質保証部サービス課)

三菱 HID 安定器施工説明書

製品概要

安定器の種類	安定器の形名	電圧変動	仕様周囲温度	適合ランプ	ランプの大きさ	管灯回路配線長
一　般　形	HD80HDE HD100HDE HCD100HKE HD200HEE HCD200HEE HD250HFE HCD250HHE HD300HEE HCD300HHE HD400HFE HCD400HHE HCD700HFE HCD1HFE	定格値±6%	－10 ～ 40℃	三菱水銀ランプ	80W、100W 200W、250W 300W、400W	100m（1.25mm²電線使用時）
					700W、1000W	100m（2.0mm²電線使用時）
				ハイルックス・L、DL、WL	180W、220W 270W、360W	50m（1.25mm²電線使用時）
					660W、940W	50m（2.0mm²電線使用時）
				マルチスター・L、L2	100W	25m（1.25mm²電線使用時）
					200W、250W 300W、400W	50m（1.25mm²電線使用時）
					700W、1000W	50m（2.0mm²電線使用時）
				HCI-BT	190W、230W 275W、360W	50m（1.25mm²電線使用時）
低始動電流形	HCD250AHDE HCD300AHDE HCD400AHCE HCD700AHCE HCD1AHCE	定格値±6%	－10 ～ 40℃	三菱水銀ランプ	200W、250W 300W、400W	100m（1.25mm²電線使用時）
					700W、1000W	100m（2.0mm²電線使用時）
				ハイルックス・L、DL、WL	220W、270W 360W	50m（1.25mm²電線使用時）
					660W、940W	50m（2.0mm²電線使用時）
				マルチスター・L、L2	250W、300W 400W	50m（1.25mm²電線使用時）
					700W、1000W	50m（2.0mm²電線使用時）
				HCI-BT	230W、270W 360W	50m（1.25mm²電線使用時）
定　電　力　形	HD250REE HD400REE	定格値±10%	－10 ～ 40℃	三菱水銀ランプ	250W、400W	100m（1.25mm²電線使用時）

●上表の使用条件を守って使用してください。安定器の短寿命等の原因となります。

各部の名称と取付条件
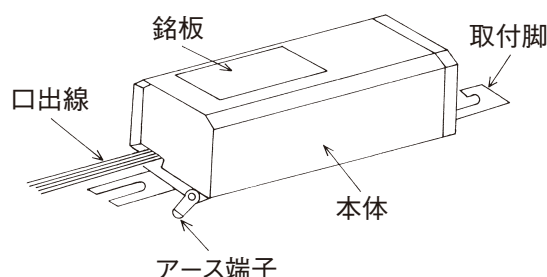
図1 (図は一部省略、抽象化してあります。)

使用場所	垂直取付	垂直取付（禁止）	水平取付	水平取付（禁止）	横向取付
屋　外	○	×	×	×	×
屋　内	○	×	○	×	○400Wまで

図2 安定器の取付方向

安定器の取付

●取付前に安定器の質量に耐えるよう、取付部の強度を確認してください。

●取付脚が可動式のものは、完全に引出してネジを確実に固定してください。

●安定器は図２の取付方向に従い、取付脚を２本の取付ボルト（M10 または W3/8)、平座金、スプリング座金、ナットを用いて確実に固定してください。

●安定器を２台以上並べて設置する場合は、安定器の本体ケースの幅以上離して通風に注意してください。

●安定器をポール内に設置する場合は、水抜き工事をして、絶縁が低下しないようにしてください。

●天井裏等に設置する場合は、更に耐火性の箱に収め、容易に点検できるように施設してください。これは、火災の危険を防止し、定期点検、異常時の処置を行なうため「電気設備技術基準」で定められています。

安定器の配線

●ランプと安定器間の管灯回路配線長は、パルスの減衰を考慮し、" 製品概要 " の表の値以内としてください。この長さを超えますとランプが始動しないことがあります。

●安定器のランプ側口出線と器具間の配線は、600V 耐熱ビニル絶縁電線と同等以上の性能を持つ電線を使用し、接続箇所は圧着端子等によって結線後、確実に絶縁処理を行なってください。

●安定器の青色口出線は器具のソケットの中心接点側に接続してください。逆接続しますと、不点灯、感電、焼損の原因となることがあります。

使用上のご注意

●安定器の銘板に表示された電源電圧 (変動範囲内)、周波数以外の電源で使用しないでください。安定器、ランプの短寿命の原因となります。

●ランプが不点になったり、点滅を繰り返す場合は、そのまま放置しないですぐに電源を切り、ランプを交換してください。